



のびるたけの子

10月号
令和5年9月29日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。
【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。
【体】健やかな心と体をお互いに助け合い、自他の生命や健康を大切にすることを育てます。
【公開】社会の一員として、社会のために行動する子を育てます。
【開】人とコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

よりよい教育活動を目指して（その3）

校長 石澤 康史

「暑さ寒さも彼岸まで」の表現通り、ようやく暑さがやわらいできました。過ごしやすい秋を迎え様々な活動をより充実させていきたいと思えます。

そのような中で、10月～11月に宿泊体験学習を高学年で実施いたします。

個別支援学級の宿泊学習は9月に行いました。子どもたちはイルカのショーや魚とのふれあいを楽しんだり、一緒に過ごした友だちの優しさを感じたりしたようです。「生活体験を広げる」「友だちと仲良く活動し、ふれあいを深める」といった宿泊学習のねらいを達成した子どもたちがたくさんいました。

5年生は来週、御殿場へ出発です。体験学習のねらいである「楽しい集団生活へ向けて友だちと仲良く協力する」ことや、学年目標である「百戦錬磨^{ひやくせんれんま} ～心歩^{しんぽ}する5年生～」の達成に向けて準備を進めてきました。

6年生は、本番まで1か月です。体験学習を学校教育目標「自らがやく子」の実現のためのステージと設定し、体験学習のねらいである「自主的に準備し意欲的に活動し集団行動のマナー、ルールを身に付ける。」「好ましい人間関係をつくる」等も達成できるよう取り組んでいきます。

4年生の体験学習のねらいは5年生と同様に設定していますが、無理のない計画を立てています。高学年になって5年生や6年生をお手本にしていますが、子どもの発達段階からまだまだ教師の出番や支援が必要な場面も多くなっています。

学校では子どもたちの教育活動を意図的計画的に行っています。そこでは上記のような学年を超えた系統性もふまえて、学校教育目標の実現を目指しております。その中で4年生の宿泊体験学習を、日帰りの体験学習に切り替える検討を本格的に行っています。令和6年度は4年生の活動が大きく変わる予定です。これについては、順次ご説明をいたします。何とぞご理解を賜りますようお願いいたします。

本校は令和5年度創立55周年を迎えます。